▲七郷地域づくり協議会が７月に開催した「waku waku ワークショップ」。地域の小学生が市内のいろいろな施設を巡り、古道体育館ではドローン操縦を体験した。

■地域づくり協議会の活動

職員が動く 地域とともに動く

昨年、市職員は出身地域ごとに集まり、「地域づくり協議会」を立ち上げました。出身地域のため、職員自ら、地域の振興のために何をすべきかを話し合うためです。

その結果、地域の課題はそれぞれあるにせよ、できることから行動に移すことにしました。草刈りでもイベント参加でも何でもいい。まずは始めてみよう、と。

▲８月にあぶくま洞周辺の道路で開催された「あぶくま洞ヒルクライム」。滝根地域づくり協議会が運営を補助した。

まずはできることから

昨年、常葉町出身の職員は、「ときわ お盆の夕べ」に仮装して参加しました。さらには舘公園で、今年1月には雪合戦大会、8月には水鉄砲大会を開催しました。地域の方々も準備に参加し、イベントの機運を盛り上げました。

船引町七郷地域出身の職員も、地域の子どもたちの健全育成に寄与する取り組みを始めました。今年２月には凧揚げ大会、7月にはドローン操縦やピザづくりを体験するワークショップを開催したところです。

その他の地域でも、環境整備やイルミネーション設置、ウォーキング大会・盆踊りなど地域行事への参加という形で、職員が積極的に地域とかかわっています。

今年3月に行われた移中学校閉校イベントの準備・運営には、移地域づくり協議会も参加しました。この夏も、滝根町では自転車ロードレース大会「あぶくま洞ヒルクライム」、大越町では「鬼の里納涼夏まつり」、都路町では「都路灯まつり」の開催準備や運営に、市職員もかかわりました。

今月には敬老会が各地域で開かれますが、その準備や運営にも市職員は積極的に参画します。

地域の皆さんと一緒に

これらの活動が地域のさまざまな活動と連動するようになれば、まちづくりに大きな相乗効果をもたらすことが期待されます。

市職員が活動する時、地域も活動している。地域が活動する時、市職員も活動している。

それが当たり前になるように、市民の皆さんと一緒に地域の活性化に取り組んでいきます。

▲常葉地域づくり協議会が８月に常葉町の舘公園で開催した水鉄砲大会「風雲ときわ城～夏の陣～」。

▲大越地域づくり協議会は「鬼の里納涼夏まつり」の前に沿道の環境を整備。「夏まつり」当日も警備などで運営に参画した。

▲都路地域づくり協議会は都路中学校周辺の環境整備を行った。

「芦沢の光」発見フォトコンテスト

船引町芦沢地域の風景や人々の暮らしを撮影した写真のコンテストが、「芦沢の光再発見実行委員会」主催で開催されます。

この実行委員会には、芦沢地域出身の職員も参加し、準備・運営に取り組んでいます。

フォトコンテストの詳細については、21ページをご覧ください。

▲移地域づくり協議会は昨年12月に移出張所で、イルミネーションを見に来た人々に甘酒を配った。